

水質日本一の復活を目指す



初日の活動の様子。昨年は延べ約 1700 人が参加しました

漂着水草回収活動

清らかな湖、美しい猪苗代湖の水環境研究協議会とロータリー猪苗代湖水環境協議会の漂着水草回収活動は 9 月 14 日、天神浜で始まりました。腐敗すると水質汚濁の原因となる水草を回収し、湖の水環境を改善するため毎年実施しているもので、今年で 4 年目になります。この日は約 70 人が参加し、湖岸に打ち上げられた水草を引き上げ、コンテナに集めました。1 年目から参加しているという郡山市の浦部公伸さんは「水質日本一に戻すために頑張りたい。猪苗代湖周辺に住む人たちの水環境に対する意識も、もっと高くなればいいと思う」と話しました。この活動は 11 月 10 日まで、毎週土、日曜日に実施されます。

コスモアースコンシャスアクト

コスモアースコンシャスアクト・クリーンキャンペーン in 猪苗代は 9 月 7 日、猪苗代湖畔で行われ、町内外から集まった約 500 人の参加者が清掃活動に取り組みました。サイクルセンターでの開会式後、参加者らは 4 班に分かれて清掃を開始。ごみや枯れ草などを熱心に拾い集めました。刈り取ったヒシの片付け作業などをした野口正敏さん(三城潟)は「こうして町外からも大勢の人が集まってくれているのだから、私たち地元の人間も積極的に取り組まないといけない」と話していました。

このほかにも多くの団体、学校などが水質日本一を取り戻すためさまざまな活動に取り組んでいます。



ヨシを片付ける野口さん(左)ら

まちの応援マガジン いなわしろ

広報猪苗代

Oct.2013
10
No.636

今月の表紙

職場体験学習で放水訓練に臨んだ大友歩さん(猪苗代中 2 年)。「放水始め」と大きな声で号令をかけると、署員のサポートを受けながら勢いよく放水しました。(関連 13 ページ)



【撮影日】 9 月 10 日
【撮影場所】 猪苗代消防署

Contents — 【目次】

- 02 Pick up ① 風とロック芋煮会 2013
- 03 Pick up ② 猪苗代湖の清掃活動
- 04 平成 24 年度決算
- 06 職員の給与・定員管理の公表
- 07 教育に関する事務の評価結果を公表
- 08 まちのわだい
- 12 笑顔でこんにちは／スクールトピックス
- 14 いなわしろタウンページ
- 18 暮らしの情報広場
- 20 みんなの美術館／食生活改善推進員コーナー

復興への思い 一つに



1_ オープニング直後に登場し、熱い歌で会場を盛り上げた怒髪天 2_ アーティストと一体となって盛り上がる観客。アーティストとの距離が近いのも、このイベントの魅力の一つ 3_ 長い列に並んで会津牛を受け取り、思わず笑みがこぼれる 4_ 「芋煮会」の主役ともいえる芋煮を盛り付ける、町食生活改善推進員の皆さん

震災や原発事故からの復興を応援する音楽イベント「風とロック芋煮会 2013」は 9 月 21、22 の両日、猪苗代スキー場ミネロで開かれました。昨年 12 月にスタートし、全国を巡った「風とロック LIVE 福島 CARRAVAN 日本」の最終公演で、2 日間で延べ約 7500 人が来場。音楽ファンとアーティストが福島再生への思いを一つにしました。

このイベントには、本県ゆかりの猪苗代湖ズや音速ラインなどをはじめ、怒髪天、BRAHMAN、吉井和哉さんなどの人気アーティストが参加。多彩なステージを繰り広げ、来場者を楽しませました。初日に登場し、「I love you & I need you ふくしま」の演奏で盛り上げた猪苗代湖ズのステージでは、メンバーの箭内道彦さん(郡山市出身)が「俺たちは『猪苗代湖ズ』と名乗っているんだから、ここがホームみたいなもの。猪苗代の町営パンドと言ってもいいぐらいだよ」と話し、観客を笑わせました。

県内の特産品などの出店が多く並んだ「猪苗代ろっくろーる横丁」では、出演アーティストが店頭に立ったほか、緑日を行うなどして、来場者と交流しました。

茨城県から訪れた三浦則子さんは「ほかのロックフェスと違って、アーティストとの距離が近いのが魅力。子どもたちも多く、安心して連れてこられるイベントだと思う」と話しました。東京に住む友人と訪れた、会津美里町の谷澤春奈さんは「福島をこわがらずに、全国からたくさんの方が集まってくれてうれしい」と目を潤ませました。

「芋煮会」と銘打ったこのイベントに欠かせない芋煮鍋は、町食生活改善推進員の皆さんが調理・提供。約 2 千食を来場者に振る舞い、本町の食の安全を全国に発信しました。町内の畜産農家も加入する J A あいづ肉牛部会は、無料で上質の会津牛を提供し、好評を博しました。

